

むつ市議会「議会報告会及び市民との意見交換会」報告書

報告会名称	第6回 むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会 (第 2 班)
開催日時	平成30年11月 6日(火) 午後 6時 30分 開会 午後 8時 10分 閉会
開催場所	北の防人大湊 安渡館
出席議員等	山本留義 野呂泰喜 浅利竹二郎 鎌田ちよ子 中村正志 原田敏匡
参加人数	11名
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第237回定例会での議案及び各会計決算について説明 ・平成29年度むつ市各会計決算の審議内容
報告に対する 質疑・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設(はこもの)について、使用人数や頻度、維持管理費や補修費等を考えたとき、施設毎に廃止などの見直しはされているか、また見直しをして廃止を実行した施設はあるか ・むつ市民の思い描く10年の将来像はどんなものか ・むつ市総合経営計画を作るにあたって、もう少し広く市民の声を聞く場や方策が必要ではないか ・財政が厳しいと言っているが、どのような手立てをしているのか ・国庫支出金、県支出金とはどういうものか ・補正予算とはどういうものか ・除雪費は毎年多額の補正予算を組んでいるが、当初から予算立てできないのか
意見交換内容 (主な意見・ 要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・東通原発など、原子力災害が起こったとき、どのような手段で避難するのか。避難計画はどうなっているのか ・現実問題として、バスは避難のための台数は足りるのか ・避難道として重要な下北縦貫道の建設は、いつ完成するのか ・避難場所では、放射線は防げるのか ・原子力船むつ当時から道路建設が、未だにこのような現状にある。どうにかならないのか ・自主防災組織を作れと言いながら、県などが行なう以外のセミナー等の参加には、全部自前で行けと言うが補助があってもいいのではないか

	<ul style="list-style-type: none"> ・市が防災リーダーを積極的に育成していくべき ・防災のための資機材や保管庫など充実を図りたいが、町内会や自主防災組織には財源がない ・自主防災組織結成後、防災意識が上がったかという？マーク。むつ市は災害が少ないので危機感がない。実のある訓練等を行なうにしても、自主防災組織や町内会には知識やノウハウがないので、行政なり専門家にリードしてほしい
<p>記録者所見</p>	<p>出席者の中には、初めての人もいれば毎回参加している人もおりましたが、それぞれ積極的に話をしてくれて、単なる報告会ではなくて有意義な意見交換ができたと思います。特に今回のテーマが「災害に強いまちづくりについて」ということもあり、実際に自主防災組織を立ち上げ活動している方々が参加してくださり、課題や問題点について現場の生の声を聞くことができたのは、議会として非常に意味深いものでした。ご意見を精査し問題点の解消や課題の克服に繋げていかなければならない。</p> <p style="text-align: right;">記録者氏名 <u> 中 村 正 志 </u></p>

むつ市議会議長 様

むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会の実施に関する規程第10条第1項により提出します。

平成30年11月16日

代表者 浅 利 竹二郎 ㊞